

パウエル米FRB議長は何を語るのか～ジャクソンホール会議

2022年8月22日(月)

米国の今後の金融政策動向への見通しが揺れています。
6月の米連邦公開市場委員会(FOMC)において、1994年11月以来、約27年7か月ぶりとなる75BP(0.75%)の利上げを実施した米連邦準備制度理事会(FRB)。先月のFOMCでも75BPの利上げを継続。歴史的な物価高へしっかりと対応していく姿勢を示しました。9月以降の利上げについては、大幅な利上げ姿勢は継続も、その利上げ幅が75BPIになるのか50BPIに縮めるのかについては見方が分かれるところとなっています。

先月末に発表された米第2四半期GDP速報値が予想外にマイナスとなり、二期連続でのマイナス成長でテクニカルリセッション入りしたことを受けて、一時は75BPの利上げ継続に懐疑的な見方が広がりました。もっとも、今月に入って発表された米雇用統計やISM景況感調査などの強さもあり、75BPの利上げ継続期待が再び浮上。しかし、10日に発表された米消費者物価指数の伸びが予想に届かなかったことで、再び後退と見通しが不安定に。米経済自体は堅調で、先週17日に発表された米小売売上高が強く出たこともあり、大幅利上げに耐えうる米経済状況の中で、しっかりと利上げを行って物価高を抑えるべきではとの見通しも維持されています。

米短期金利先物市場動向から見た利上げ確率を示すCMEFedWatchを確認すると、50BP(0.50%)利上げ見通しが53%、75BP利上げ見通しが47%と、ほぼ拮抗しています。次回のFOMCまでに8月の米雇用統計や消費者物価指数の発表予定があることを考えると、どちらになってもおかしくないという状況です。

こうした中、市場は今週開催されるジャクソンホール会議に注目しています。同会議は、カンザスシティ連銀が主催し毎年8月下旬にワイオミング州ジャクソンホールで開催される経済シンポジウムのことです。各国の中央銀行要人や金融関係者が多数集まることで知られており、また、FRB議長が講演などで今後の方針を語るケースが多々見られます。

新型コロナの関係で一昨年、昨年とオンライン開催となっていましたが、今年は25日から27日の日程で対面での開催が決定しました。今年の会議のテーマは「Reassessing Constraints on the Economy and Policy」(経済と政策における制約の再評価)です。シンポジウムの詳細なスケジュールは25日の開催初日に公表となりますが、目玉となるパウエル議長の講演スケジュールは発表されており、現地時間26日午前10時(日本時間同日午後11時)からとなっています。議長はシンポジウムのテーマに沿う形で、経済見通しなどについて語る見通しとなっています。市場は議長が今年後半から来年にかけての金融政策の展望をいかに語るかに注目しています。また、現状の物価高に対する評価と今後の見通しなどについても注目が集まる場所です。

前回のFOMCでFRBは今後の利上げについて「データ次第」としました。75BPの利上げ幅はFRB自身が指摘しているように本来は異例です。それだけに利上げ幅縮小の口実を探しているのではとの見通しがありました。また、金利市場動向を見る限り、今年中もしくは来年の早い段階までは積極的な利上げを実施も、その後は物価高の落ち着きに合わせて利下げに向かうのではとの思惑も見られます。

こうした市場の見通しに沿った姿勢が示されればドル売りに。市場の見通しに沿わず、積極的な利上げで物価を抑える強い姿勢を示せばドル買いに反応しそうなどです。次回の利上げ幅見通しはほぼ二分されていますが、その先、年内での利上げ幅の合計見通しという点でみると、9月以降残り3回のFOMCで合計1.25-1.50%の利上げという見通しが大勢に。ジャクソンホール会議でのパウエル議長発言により、現状では2割に満たない1.50-1.75%以上の利上げ見通しが強まるようだと、ドル買いの流れを誘いそうです。ドル円は140円台に向けた動きが強まる可能性があります。

ここに掲載されている情報は、情報提供を目的としたものであり、特定の商品などの投資の勧誘を目的としたものではありません。最終的な投資判断は、お客様ご自身の判断と責任によってなされ、この情報に基づいて被ったいかなる損害についても「株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド」では責任を一切負いかねます。「株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド」は、信頼できる情報をもとに情報を作成しておりますが、正確性や完全性について責任を負いません。ここに掲載されている情報は、作成時点のものであり、市場環境等の変化などによって予告なく変更または廃止されることがあります。ここに掲載されている情報の著作権は、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドに帰属し、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドの許可無しに転用、複製、複写はできません。株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド